

平成21年度経営計画

1. 業務環境

(1) 兵庫県の景気動向

県下の景気動向は、輸出・生産の大幅な減少により、企業収益が悪化しており、個人消費・住宅着工・設備投資・公共工事等も低調に推移し、より一層の景気後退の懸念が高まっています。世界的な金融危機に端を発した株安・円高等は深刻さを増し、内外需が大きく減退するなど先行きは不透明であり、地域・業種を問わず経済情勢は厳しさを増しています。

(2) 中小企業を取り巻く環境

県下の中小企業者は、世界的な景気後退に伴い受注が減少し、個人消費が落ち込むなど大きな打撃を受けており、企業倒産が高水準で推移するなど深刻な状況となっています。このような状況のもと、県下の中小企業者の体力は著しく消耗し、資金繰りも一層厳しさを増しています。

今後についても、景気回復に向けての好材料は乏しく、当分の間、厳しい状況が続くと見られます。

2. 業務運営方針

このような状況のもと、当協会は信用補完制度の役割を再認識し、中小企業金融の円滑化という使命を遂行していくため、経営基盤をより一層強固なものにするとともに、中小企業者にとってより身近な存在として「がんばる企業に保証でエール」を合い言葉に役職員一同が全力で中小企業者の発展に取組みます。

経営の安定を求める中小企業者からの資金ニーズには迅速・的確に対応し、積極的な保証推進を図ります。特に「原材料価格高騰対応等緊急保証制度」については、より一層親切・丁寧な対応を心がけ、資金繰りの改善に寄与します。また、審査能力の向上・回収強化等に取り組み、信用補完制度の持続性確保に努めます。

政策保証や経営支援・再生支援については、国、地方公共団体、金融機関等との連携を強化し、利用推進に取組みます。

地域に密着した審査体制、保証業務量の平準化、新規保証の推進による保証利用度の向上等を主目的として組織変更を実施します。実施に際しては、広報媒体等を有効利用して周知を徹底するとともに、保証利用者の利便性を損なわないよう細心の注意を払います。

増加する求償権については、管理体制の強化を図るとともに、サービサー（保証協会債権回収㈱）を有効活用し、回収の最大化・効率化を図ります。

コンプライアンスについては、研修等を通じて役職員の意識向上を図るとともに、情報セキュリティー、個人情報保護体制等を充実し、信頼性を確固たるものとします。また、経営・業務の合理化・効率化、職員の各種能力向上等に努め、総合的な経営基盤を強化します。

これらを通じて、中小企業者のベストパートナーとして、「信頼される保証協会」の実現を目指します。

(1) 原材料価格高騰対応等緊急保証制度への機動的な対応

- ◆ 「原材料価格高騰対応等緊急保証制度」については、保証審査が滞留しないように保証申込動向を注視するとともに、適宜、臨機応変な審査体制をとり、迅速・的確に対応します。また、利用状況等について情報収集・分析を行い、必要に応じて審査方法・審査基準等の変更を行います。

(2) 保証利用度の向上

- ◆ 新規保証の数値目標を部署毎に設定し、保証利用度の向上に対する意識を高めます。また、金融機関や商工会・商工会議所等との情報交換の機会を増加させるとともに、業務統括部に新規保証推進担当役席を配置して新規保証を積極的に推進します。

(3) 政策保証への取組み

- ◆ 中小企業者の資金調達多様化に関する取組みの一環として、流動資産担保融資保証制度等の推進を図ります。
また、新たに創設される保証制度については、早急に内部体制を整備するとともに、効果的な広報活動を行い、円滑に実施します。

(4) 適正保証の推進

- ◆ 目利き能力向上のため、臨店・面談調査の機会を増加させるほか、職員のレベルに合わせた各種研修、OJTを実施します。
また、保険収支（特に無担保保険・一般分）の改善を図るため、審査基準見直し等の組織的対応を図ります。
高リスク先については、必要に応じて担保徴求を視野に入れた保証審査を行います。

3. 保証承諾等の見通し

平成21年度の保証承諾等の主要業務数値（見通し）は以下のとおりです

項 目	金 額	前年度計画比
保 証 承 諾	6, 0 0 0億円	1 3 9. 5 %
保証債務残高	1 兆 5, 0 0 0億円	1 3 5. 1 %
代 位 弁 済	5 9 6億円	1 5 2. 8 %
回 収	1 0 9億円	9 0. 8 %